

ヴィンテージ・マンション〈年代別・名作ファイル〉

¥300
特別価格
suumo.jp

都心に住む

2012

III

by **SUUMO**↑

RECRUIT



未来は緑の街になる？ 東京はエコの ファーストシティ

高品質とはこういうことだ
ハイグレード・マンション特集
究極の「わが家」をつくる
リフォーム会社特集

その価値は、時代を超える ヴィンテージ・ マンション 名作案内

TOKYO STORY
坂の記憶
袖摺坂
Monthly Essay
建築家も歩けば。

掲載されている内容についてのお問い合わせは
読者ホットライン ☎0120-305444

Eco × 日本橋 エリア

「共生」と「循環」の暮らし エコシティ「江戸」を再生



空が高速道路でふさがれ、保存する機運が盛り上がったことで、日本橋がエリアを再生する象徴となったともいえる

住民と企業、行政が連携し 江戸に学びイベントを発信

かつて東京は、世界に誇るエコシティだった。公共交通は水運を活かした人力の船が主なもので、生活排水は堆肥などに再利用された。この街が江戸と呼ばれていた時代の話だ。

そんな江戸の暮らしに学びながら、都心を再びエコな街にしようという取り組みが、日本橋エリアで続けられている。その一翼を担う三井不動産日本橋街づくり推進部事業グループの甲斐竜弘さんに、経緯を聞いた。

「日本橋の上に高速道路ができたことをきっかけに、地元有志によって『名橋「日本橋」保存会』が発足し、その後も日本橋の活性化をめざす団体が続々と立ち上がりました。そうした街の人たちとの連携で生まれたのが『ECO EDO 日本橋』です。『自然と人、人と人との共生』と『循環の仕組み』をテーマに、江戸を本としたさまざまなイベントを開いています（甲斐さん）

具体的には打ち水や橋洗いなどのイベントを中心に、中央通り沿いに花壇をつくる活動や、日本橋川の水質浄化などに取り組んでいる。

「日本橋は都心でありながら、下町特有的なコミュニティが色濃く、イベントやお祭りには多くの人が参加します。2カ月に一度は地元の小学生も参加して川の清掃などを行っており、10年前と比べてボラやスズキなど川の魚も増えました。微生物を利用した水質の浄化や、環境にやさしいディーゼルエンジンの無料バスなど、地域全体でエコな街の再生を目指しています」

江戸の町に負けないエコシティをつくる取り組みが街を住みやすくし、そこに暮らす人々のコミュニティを強固なものにしてくれるのだろう。

Flower Street

人々が育てた花が沿道を彩る

中央通り沿いに季節の花を植える「はな街道」。企業が資金を提供し、沿道の店舗や住民が水やりを担当する（主催/NPO法人はな街道）



電気ボートで エコな舟めぐり

日本橋周辺では、電気ボートによるクルージングも楽しめる（主催/江戸東京再発見コンソーシアム）



Uchimizu Event



涼を呼ぶ打ち水イベントも恒例

毎年8月恒例の打ち水イベントには、町内の住民や企業から多くの人がゆかた姿で参加。炎天下の気温を下げるのにひと役買う

River Cruise

Free Bus

低公害仕様の 無料バスが巡回

地域内にはディーゼルエンジンで低公害の巡回バスが走り、無料で利用できる（撮影協力/日の丸自動車興業）

